

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年2月8日
【四半期会計期間】	第38期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	株式会社 アイビー化粧品
【英訳名】	IVY COSMETICS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 白銀 浩二
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03(3568)5151(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理室 室長 中山 聖仁
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂六丁目18番3号
【電話番号】	03(6880)1201
【事務連絡者氏名】	執行役員 経営管理室 室長 中山 聖仁
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第3四半期連結 累計期間	第38期 第3四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	3,752,068	3,432,053	5,213,252
経常利益(千円)	233,745	256,310	511,178
四半期(当期)純利益(千円)	78,938	116,702	220,867
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	79,940	117,137	222,681
純資産額(千円)	2,688,730	2,732,007	2,831,423
総資産額(千円)	5,306,704	5,074,622	5,657,086
1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	3.65	5.39	10.21
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	50.7	53.8	50.1

回次	第37期 第3四半期連結 会計期間	第38期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.95	0.74

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の横ばい、輸出、生産、設備投資は緩やかな減少傾向となっているものの、海外経済減速の動きに歯止めがかかりつつあります。また、政権交代により、為替の円安、株式市場の上昇などマーケットも好感した動きとなっており、デフレ脱却に向けた経済政策運営による景気回復が期待されております。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足を獲得するとともに、全てのステークホルダーの満足度向上を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をとともに創造し、幸せと豊かさを提供する「ワンダ・フル・カンパニー」として成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、継続展開しております「アイビーファン10万人づくり」に向け、お客様との出会いを大切に、お客様へのフォローやサービス、販売組織拡大を徹底してまいりました。販売拠点となる営業所増設は、前年同四半期比49.2%増、販売員であるビューティマネージャー増員は、同95.6%増で推移したことが、平成24年11月に発売しました「アイビーコスモス エンリッチ ローション」を、新製品の単月出荷数としては過去最高の約144,000個受注の推進力につながることができたと捉えております。また同12月には「アイビー メイクアップコレクション ふたつの魅力」、並びに「アイビー エレガンス ロングラッシュ マスカラ」を新発売し、顧客満足向上に努めました。

これらの新製品とスキンケア、美容液を中心に、販売強化を展開してまいりましたが、営業所及びビューティマネージャーの育成と新規客の拡大が、当初の計画数まで届かず、また、レギュラー製品の販売が伸び悩んだこともあり、前年同四半期比減となり、売上高は減収となりました。

一方、損益面におきましては、創立35周年記念式典費用を要した前年同四半期に比べて、経費予算を大幅に圧縮できたことと、業務及び各経費の見直し、販売費及び一般管理費の節減を継続し、全社を挙げて経費節減に努め、増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,432,053千円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益265,778千円（同16.6%増）、経常利益256,310千円（同9.7%増）、四半期純利益116,702千円（同47.8%増）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、165,758千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,520,000	25,520,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	25,520,000	25,520,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	25,520,000	-	804,200	-	343,800

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,883,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,483,000	21,483	-
単元未満株式	普通株式 154,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	25,520,000	-	-
総株主の議決権	-	21,483	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アイビー化粧品	東京都港区赤坂6丁目18番3号	3,883,000	-	3,883,000	15.21
計	-	3,883,000	-	3,883,000	15.21

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が3,000株(議決権の数3個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれております。

平成24年12月31日現在の実質所有の自己株式数は、3,884,031株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東光監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,622,870	1,374,686
受取手形及び売掛金	1,293,923	873,533
商品及び製品	381,494	460,717
仕掛品	14,004	20,343
原材料及び貯蔵品	164,404	205,500
その他	162,965	136,904
貸倒引当金	22,744	7,441
流動資産合計	3,616,918	3,064,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	468,733	447,988
機械装置及び運搬具(純額)	52,998	55,845
土地	521,190	521,190
その他(純額)	31,091	42,564
有形固定資産合計	1,074,013	1,067,589
無形固定資産	51,281	42,521
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	279,032	275,390
差入保証金	401,721	392,481
その他	268,523	290,873
貸倒引当金	44,772	65,509
投資その他の資産合計	904,504	893,235
固定資産合計	2,029,800	2,003,346
繰延資産		
社債発行費	10,368	7,031
繰延資産合計	10,368	7,031
資産合計	5,657,086	5,074,622

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,014	329,431
短期借入金	800,000	880,000
1年内償還予定の社債	180,000	60,000
未払法人税等	155,339	134
賞与引当金	114,972	48,097
ポイント引当金	12	230
その他	388,529	308,486
流動負債合計	2,062,868	1,626,380
固定負債		
社債	640,000	580,000
退職給付引当金	88,831	91,922
その他	33,963	44,311
固定負債合計	762,794	716,234
負債合計	2,825,662	2,342,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	804,200	804,200
資本剰余金	343,800	343,800
利益剰余金	3,073,044	2,973,376
自己株式	1,269,886	1,270,069
株主資本合計	2,951,158	2,851,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,056	621
土地再評価差額金	118,678	118,678
その他の包括利益累計額合計	119,734	119,299
純資産合計	2,831,423	2,732,007
負債純資産合計	5,657,086	5,074,622

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
【 四半期連結損益計算書 】
【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	3,752,068	3,432,053
売上原価	842,431	732,459
売上総利益	2,909,636	2,699,593
販売費及び一般管理費	2,681,741	2,433,815
営業利益	227,895	265,778
営業外収益		
受取利息	3,266	2,939
受取配当金	436	530
受取賃貸料	22,332	37,707
雑収入	29,553	15,614
営業外収益合計	55,589	56,792
営業外費用		
支払利息	13,329	11,331
賃貸収入原価	30,423	44,136
雑損失	5,986	10,791
営業外費用合計	49,738	66,260
経常利益	233,745	256,310
特別損失		
会員権評価損	7,750	-
特別損失合計	7,750	-
税金等調整前四半期純利益	225,995	256,310
法人税、住民税及び事業税	83,357	91,315
法人税等調整額	63,699	48,291
法人税等合計	147,056	139,607
少数株主損益調整前四半期純利益	78,938	116,702
四半期純利益	78,938	116,702

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,938	116,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179	435
土地再評価差額金	822	-
その他の包括利益合計	1,002	435
四半期包括利益	79,940	117,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,940	117,137

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,601千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	101,540千円	85,494千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	108,195	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	216,370	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	3円65銭	5円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	78,938	116,702
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	78,938	116,702
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,637	21,636

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月7日

株式会社アイビー化粧品
取締役会 御中

東光監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 明充 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 勝 伸一郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アイビー化粧品の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アイビー化粧品及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。